

# 楽屋にオカンが二人？ とつても豪華ですわあ。



ほーらね、めっちゃ仲良しでしょ。  
デッカク載せてな!

前日に装束や備品と物販を現場に搬入して、更にゲネプロ(本番さながらの通しリハーサル)。当然でしょ、今年はガッツリ古典二番、新作四番、合計六番をHANGATAメンバーでまわすんから(笑)。

一番若い童司なんてピリピリでせ。今回一番難しい「節分」って演目(謡も自分で謡い、台詞も無いもたぶり)やから、教える叔父ちゃんもガンガン言うわけ。舞台袖で俺もかなりピリピリしていました。後から童司に聞いたら「ゲストがいてはたから、古典は厳しいぞってキツクわざと言ってるん」やって。みんなで突っ込みましたわあ。「そんなアヒルいらんやあ〜ん」ってね。

そのゲストとは関西を代表する女優やし、劇作家でもあって、演出家やし、とにかく肩書きが山盛のわかき多ふさんなので



「お前ーちゃんとしろー!」何で出来ひんねん!「フンター!何にも知らんなあ!」と、何時でも何処でも誰といてもポロンチヨンに叱ってくれはりますねん。そうなるも当然、リアルなおカンともめっちゃ仲良し。二人の会話も何か変?

「うちの息子あほでしょ〜?」  
「ええ、確かに賢くはないです〜」  
「まあ、親がこれです〜」  
「この家もそんなもんです〜」

しかし楽屋、人多いの〜。  
よくよく見ると偉い人  
いっぱいですよん。わかる?

す。今回の公演も、新作の演出、出演とゲストなのに大忙し。随分助けてもらいました。なせ〜んな事を頼めるかというと、俺のおかちゃん!?でもありません。「お前ーちゃんとしろー!」何で出来ひんねん!「フンター!何にも知らんなあ!」と、何時でも何処でも誰といてもポロンチヨンに叱ってくれはりますねん。そうなるも当然、リアルなおカンともめっちゃ仲良し。二人の会話も何か変?



これは新作狂言の衣装。  
うっ〜ん、カウユイ!

どろちが母親でオカンやねん! いやどうも最高におもろい人ですわあ。

来年もHANGATA東京公演で、わかきさんにゲスト出演してもらいお世話になり、俺はわかきさんの劇団にゲスト出演してもらいお世話してもらおう(笑)。なんかおもしろい関係です。あつ、当然ですけどリアルなおカンはどうも出演しませんから、あしからず。

## もっぴ〜に質問

Q 2008年のON、OFFベスト3をおしえてください。

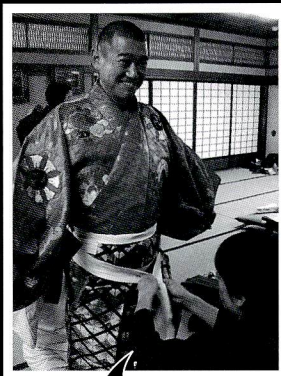
A そんなあ〜甲乙つけられませぬ。ONもOFFも。ええ事、おもしろい事、山盛ありましたもん。でも間違いないく言えることは、どっちも驚く程、友達や家族に迷惑かけて、心配させっぱなし。2009は芸暦30周年、ガソンと気合入れて俺っぽく生きて行きたいものです。

※読者の皆様か疑問に思うこと、ささやかな要望などにもっぴーが真摯にお答えします。つきましては、どしどし質問をお寄せください。moppy@kyotocf.comまでメールにて。題名は「もっぴーへのラブレター」とご記入ください。

もっぴー 茂山宗彦の  
足袋ゆけば

08、巴里公演をやってきた、NANAGATA狂言会。  
年末12月23日、先斗町歌舞練場で本公演でした。  
年に一度の若手の祭り!  
出来はさておき...

# せんせ〜い、ちゃんと来て下さい。 稽古日決めてもらわないと困ります〜。



生徒さん、本番前のこの笑顔。  
余裕ですねえ〜

12月は俺らの狂言会もあつたけど、実は狂言の発表会もあつたんですねえ。発表会? : そうなんです、俺に狂言を習ってる、変わった? 生徒さん達の会なんです。だから現場的には俺はOFF、いや出番が少ないだけで、生徒さんの為にお手伝いしてもらいましたよ。

会場は三重県のある由緒ある館。議題が市議会に上がり、使用許可いただきました。当日は三重テレビの取材も入り、夕方3コースで会の様子放送され、なんと「日本を代表する狂言師」

茂山宗彦って紹介してもらえたくて、ちなみに親父にも、手伝いに来てもらってたのに(泣)。まあ〜でも生徒さんもめっちゃ楽しんでもらえたり、見に来てくれた人、会場のスタッフさんにも喜んでもらえたり、大成功!!!

俺は「よかつたやん、来年もやろうやあ。するとしつかりした生徒さんからキツ〜イ言、「だから稽古来て下さい!」来月いつですか?。すんませんねえ、OFFは稽古日に献上させていただきますわあ。」



でも俺はこの顔、  
着替えるのギリギリやっつてん。



会場はこの目の前。すんばらしい環境です

## 茂山宗彦

1975年6月4日生、O型。  
「酒、美女、自然」を三種の神器とし、釣り人としての時間を愛す。出鱈目な英語とスラングな京都弁を駆使し、たまに世界中を飛び回る狂言師。

